

経済・経営教育と中国語

福 光 寛

はじめに

私自身は数年前から、学部と大学院の講義において、専門用語を学生に紹介するとき英語とともに中国語（漢語）を併記するようになってきた。この研究ノートは、大学の講義における中国語併記の必要性を議論した冒頭の部分と、その中国語と日本語との違いを例解した中間部分、そして実際に授業で用いる用語集からなる最後の部分の計3部分から構成されている。

1. 授業における中国語併記の必要性

日中の歴史的・地理的な関係や、経済交流・人的交流の拡大を考えると私たち日本人が中国語を学習することの重要性は自明に思えるがなお異論もあるかもしれない。この冒頭部分では、概ね21世紀初頭を転換点に経済交流・人的交流の両面において、中国語圏との交流が、アメリカあるいは対ヨーロッパを上回りつつあることをまず確認したい。

最初に貿易相手国としての中国の位置を確認する（表1-1）。まず輸出相手としての位置である。よく知られているように日本ではアメリカが輸出先として筆頭にある。輸出先という意味でのアメリカの位置はなお大きい。中国の存在は次第に大きくなっている。2006年現在で中国は国別輸出先としては2番目、アメリカの3分の2程度の規模になっている。しか

し中国に香港、台湾を加えたものを仮に中国語圏と呼ぶと、2003年頃から中国語圏への輸出はアメリカへの輸出を上回るようになってきている。なお輸出の問題について、現地生産の拡大や第三国たとえば中国経由の輸出などの論点もあることはいうまでもない。

次に輸入相手国としての中国の位置を確認する(表1-2)。まず中国語圏からの輸入がアメリカからの輸入を上回るのは輸出より3年早い2000年。そして2003年に中国は、国別輸入先の筆頭に位置するようになる。なお輸入についても、委託生産や加工されたものの再輸入、あるいはその再輸出など多数の論点があることを付言しておく。

このように貿易、つまり物の交流面で中国、そして中国語圏の存在は圧

表1-1 地域別輸出構成の推移(暦年%)

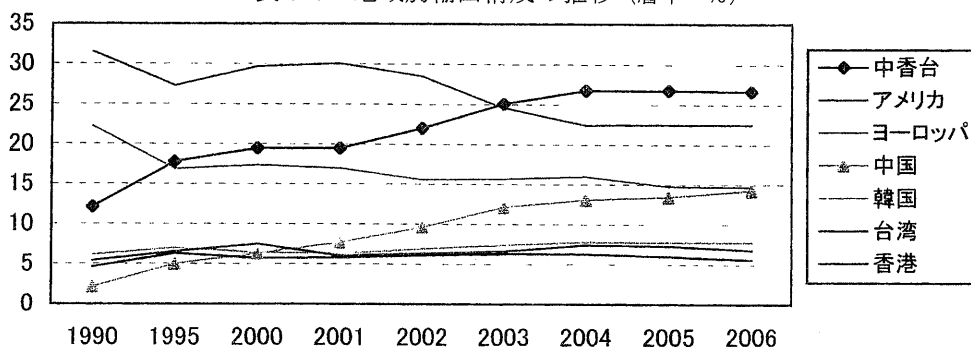
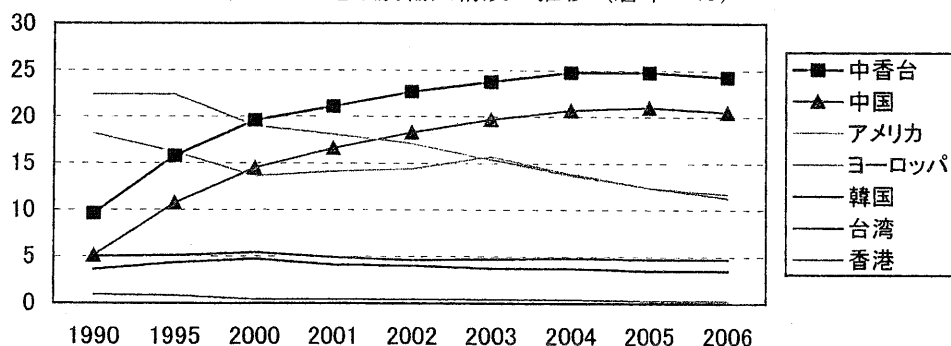


表1-2 地域別輸入構成の推移(暦年%)



資料：表1-1 表1-2ともに日本貿易会『外国貿易概況』

倒的になりつつある。多くの考慮すべき点はあるが、見かけの上では、2000年代に入ってまず輸入でそして続いて輸出で、日本にとって主たる相手先はアメリカから中国語圏に移ったといえる。

次に人的交流の側面をみよう。

表 1-3 は受入国統計と呼ばれるもので、日本人の海外渡航先の傾向を反映するものである。この統計は様々の基準の各国統計の集計であるため、構成比の計算をするのは適切でないが、ここでは傾向をみるためあえて構成比率を用いる。この統計によれば中国語圏への移動が 21 世紀初頭にアメリカやヨーロッパへの移動を上回り、少なくとも 2004 年まではこの傾向が続いていた。

次に海外からの渡航をみよう。表 1-4 は入国者統計である。しばしば日本社会の国際的閉鎖性が問題にされ、また近年は小泉政権のもとで中国や韓国との関係の悪化が指摘されたが、この統計によると、外国人の入国者数はほぼ順調に増加している。1998 年から 2006 年の 8 年間でほぼ倍増している。ゆっくりとではあるが日本社会が開放性を増していることがわかる。表 1-4 から読み取れるように、我が国への入国者は、中国、韓国、そ

表 1-3 日本人海外旅行者の渡航先構成比の推移 (1999-2004)

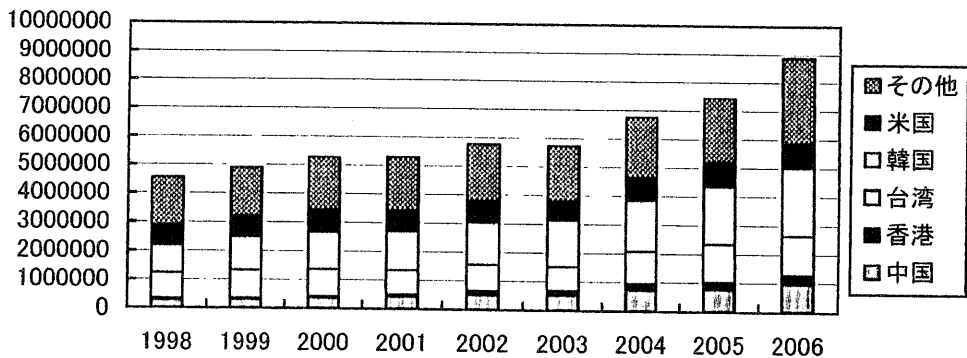
	1999	2000	2001	2002	2003	2004
中国	8.8%	9.0%	10.8%	13.5%	12.8%	15.8%
香港	5.3	5.7	6.1	6.3	4.9	3.3
台湾	3.7	3.8	4.4	4.5	3.8	4.0
小 計	17.8	18.5	21.3	24.3	21.5	23.1
韓国	9.8	10.1	10.8	10.5	10.2	11.6
アメリカ	21.7	20.7	18.5	11.9	17.9	17.7
ヨーロッパ	21.8	21.6	20.5	20.2	21.1	15.3

注) アメリカにはグアム、ハワイなど本土外を含む。受入国統計から算出。
資料：日本旅行業協会 単位：%

してアメリカの国籍の者が多い。近年の特徴は、アメリカ国籍の者の入国者数が停滞気味であるなかで、アメリカ以外の国籍のもので日本に入国するものが増えたことである。ここではアメリカ国籍の入国者に比べた中国、台湾、韓国の各国国籍の入国者の倍率の推移を取ってみた(表1-5)。これによれば、韓国と中国の入国者が顕著に増加している。そして2005年から2006年にかけて、中国国籍の入国者数が遂にアメリカ国籍の入国者数を実数で上回るようになった(倍率が1倍を超えるようになった)のは象徴的な出来事である。大学の教育はこの社会の変化に敏感に対応することが求められているのではないか。

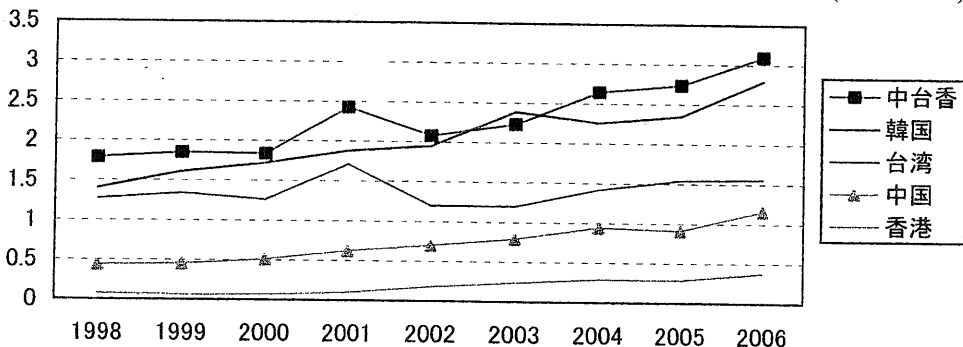
国際化の進展とともに、中国や韓国との物的・人的な交流がこれまでに

表1-4 入国者国籍別内訳の推移(1998-2006)



資料：法務省入国管理局『出入国管理』各年 単位：人

表1-5 アメリカ国籍入国者を1とする各国国籍入国者の倍率の推移(1998-2006)



なかった密度に深化しつつある。またそうした中で、ゆるやかにではあるがアメリカの比重が相対的に低下しつつある。こうした社会の変化に私たちは組織として個人としてどのような対応が可能なのか。個人のレベルでは、私たちは中国や韓国という要素を講義や研究の中にもっと取り入れることを模索してよいのではないか。

もっとも中国語の表記を講義に取り入れることには、初学者の多い学部学生に混乱を招くなどの疑問が出るかもしれない。私は、大学の外でも中国語表現を目にする機会がすでに増えており、中国語表現の正確な意味を大学で教えることの重要性は高まっているので積極的に中国語表記を導入すべきだと考える。

また中国語圏からの留学生、学部で中国人留学生を受け入れていない私たちの大学については、大学院留学生になるが、彼ら留学生にとっては、このような中国語併記は学習上の負担の軽減につながるメリットもある。ただ中国からの大学院留学生は今後増えるかどうかわからないといった疑問があるかもしれない。もちろん個々の大学院で留学生が今後どうなるかは、その大学院の留学生政策によるところが大きい。しかし当面、日本全体では中国人大学院留学生の増加が見込まれる。

中国人大学院留学生増加の大きな要素になるとされているのは大卒者の就職難である。中国国内では、大学生が急速に増えるなかで、大卒者が満足できる就職機会が保証されていない問題が数年前から指摘されている。そこで海外の言葉と文化をマスターし、さらには海外で学位を得て、海外で就職して現地化しあるいは帰国したとき内外企業に就職する際に有利なることを期待するニーズが強くなっている(遠藤 2006, 191, 194; 遠藤 2007 ②, 24-27)。中国の「考研 kaoyan」(大学院受験)ブームは紺野(2006)や菅原(2006)など多数の文献が繰り返し伝えている。なお考研 kaoyan は碩士(碩士 shuoshi: 修士)の取得を目指す大学院入学試験。博士 boshi の取得を目指す大学院入学試験は考博 kaobo という。

遠藤誉さんは中国人留学生問題の権威として知られるが、1990年代末以降、一方では日本型経済モデルの限界も言われた中で、中国から日本への留学が衰えなかった理由をつぎのように分析している。まずもっとも人気が高いアメリカに留学するのは、小さい頃から TOEFLE で高い点を取るような特訓コースで歩いていないとむづかしい。そこで人生の途中で留学を考えた人たちにとって日本が留学の受け皿になっていると(遠藤2000, 140-143)。だとすると今回のように大学卒業を控えての進学決断のケースでは、日本への大学院留学希望者が多く出ることが見込まれよう。

また私は修学費用の問題もあると考える。中華人民共和国建国以来、中国の大学は無料だった。しかし国家財政に与える負担が莫大だということもあり1994年に有料化が始まった。その費用は当初は100元とされていたが1990年代後半に入るところには1000元といわれ、最近では宿舍費を含めると5000元以上に高騰しているとされる(遠藤2007①, 17; 付2005, 9)。5000元として日本円に1元16円で換算して8万円、20円で換算して10万円である。また近年増加している、正規の高等教育機関(普通高等教育機関)として認定されていないものが多い民办大学(民弁大学 minbandaxue 私立大学)の学費は1万元を超えていると指摘される(苑2002, 15)。このように中国国内の学費がすでに必ずしも安くないことは、海外留学の心理的ハードルを下げることになる。

改めて中国の高等教育の普及を確認しよう。普通高等教育機関に在学する学生数は、1990年には206万人、同就学率は5%台とされていたが、2000年には556万人、就学率は11%といずれも10年で2倍以上になった(苑2002, 13)。このほかに、民办大学や各種成人高等教育機関などその他の高等教育機関に在籍する学生数が100万を超えているとされる(苑2002, 14)。表1-6によると、2000年から2004年のわずか5年間に普通高等教育機関に在学する学生数は、再度2倍以上増えている。ここでも大学院の伸び率が際立って高いことが注目されよう。歴史上、類例を見ないよ

表 1-6 中国の学生数の推移

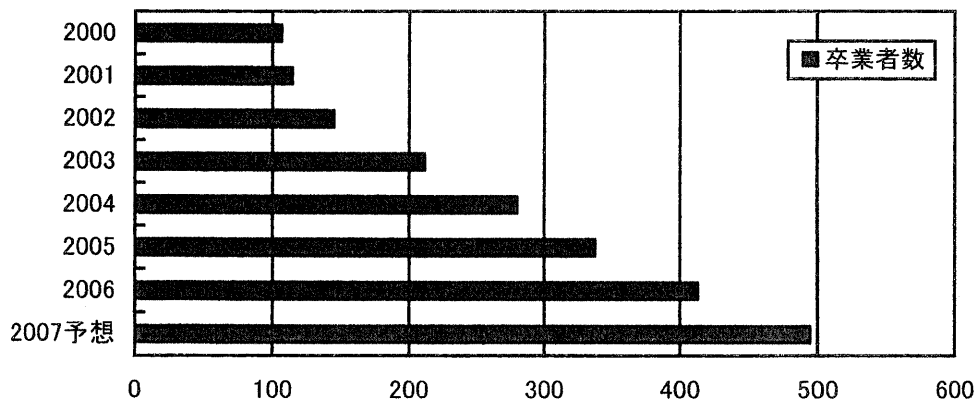
資料：文部科学省『教育の国際比較』各年

	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2004/2000
大学	3,852	5,199	6,474	7,837	9,188	10,652	2.05倍
専科学校	(358)	(429)	(460)	(509)	(575)	(665)	1.55
職業技術学校	234	362	717	1,197	1,899	2,683	7.41
	(27)	(34)	(72)	(110)	(149)	(193)	5.67
大学院	234	301	393	501	651	820	2.72
小計	4,320	5,862	7,584	9,533	11,738	14,155	2.42
高級中学	10,497	12,013	14,050	16,838	19,648	22,204	1.85
職業中学	5,339	5,032	4,664	5,115	5,284	5,169	1.03
中等専門学校	5,155	4,895	4,580	4,564	5,024	5,545	1.13
技術労働者学校	1,560	1,401	1,347	1,530	1,931	2,345	1.67
小計	22,551	23,341	24,641	28,047	31,885	35,263	1.51
初級中学	57,216	61,676	64,311	66,041	66,184	64,750	1.05

注) 香港, マカオ, 台湾を除く () 内は教員数 単位: 1000人 倍

表 1-7 中国の大学卒業生 (単位: 万人)

資料: asahi.com on Feb. 27, 2007



うな急激な高学歴化, 大学教育の大衆化が中国社会で進行しているとみてよい。

この高等教育大衆化の流れの中で, 日本に留学する中国人学生数も急増

した。表1-8から読み取れるように、2000年から2004年の間、日本の高等教育機関に在学する留学生総数が2倍強増加したその間に、香港を含む中国本土からの留学生の数は3倍増加した。留学生総数に占める中国本土からの留学生の比率はおよそ半分から3分の2程度にまで上昇した。しかし他方では表1-9に見るように、この間の中国人留学生の増加は学部以下の学生の増加が主体で大学院留学生はそれほど増えていない。しかし今後は、大卒者の就職難もあり、より上位の学位を求めて大学院留学生が急増すると見られるのである。

なお中国では高校(高級中学)を終えて大学(高等学校)に進学するとき、二つの試験制度の関門がある(以下の記述は基本的に王(2006)による)。一つは省・自治区・直轄市単位で実施される「会考 huikao」である。これは日本語では高校卒業試験制度と訳されているもので、科目(全9科目)ごとに高1と高2の6月(中国は9月始まりで6月から7月が年度末)と高3の3月に分散実施され(毎年3月に不合格科目について追試がある)、高3の5月には合格者に省教育委員会から高校卒業成績証明書、高校卒業試験合格証が発行される。会考の合格率は95%とされ合格の難易度は高くないが、ABCDEの5段階評価が出されるので学力の判定に使うことができる。

この「会考」に対して高3の6月に全国統一試験で実施されるのが、「高考 gaokao」と呼ばれる大学入学統一試験である。一般には高校卒業試験合格証取得が、「高考」受験の要件となるが、上海市、湖北省、江蘇省のように二つの試験の重複が高校生に過重負担になっているとして「会考」を廃止した自治体もある。「高考」では国語、数学、外国語が主要3科目(=必修科目)で時間配分も多いが、残りの6科目についても合わせて実施される。この年1度の「高考」において、受験生はすべての科目ではなく希望する大学の指定科目を見ながらそれに沿って受験するが、このように年1回の試験で人生を左右する結果が生ずることから、受験生に厳しい重圧がかかるとされている。最後に大学側が地域配分や性別も考慮しながら、

表 1-8 日本の高等教育機関に在籍する留学生

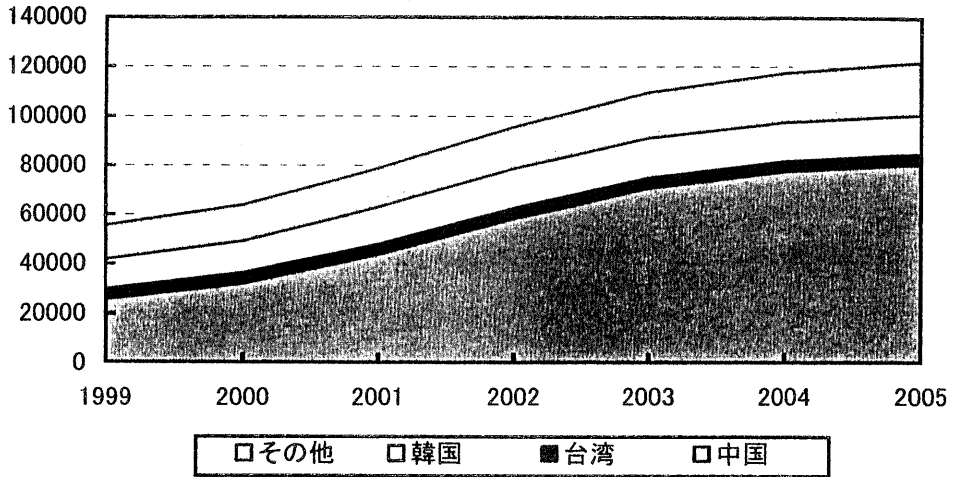
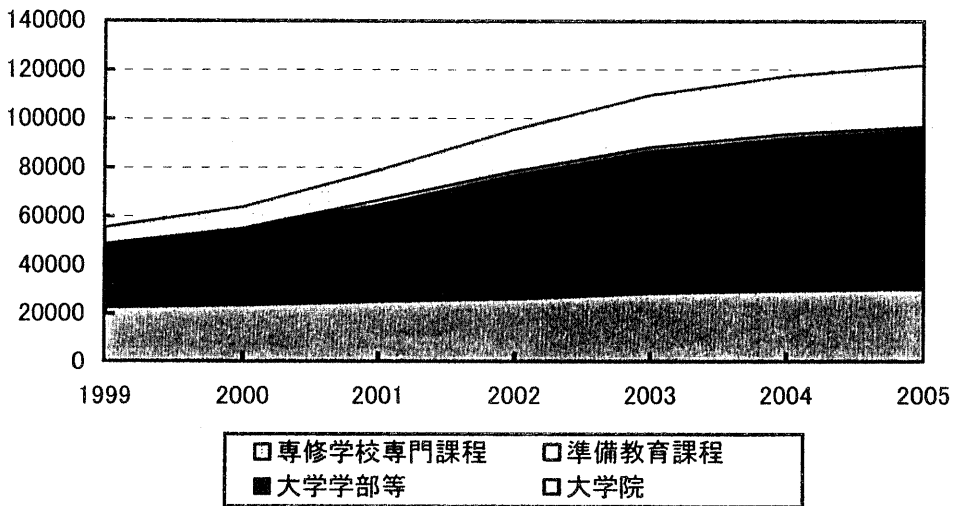


表 1-9 留学生の在籍高等教育機関の種別内訳



資料：表 1-8 表 1-9 とも文部科学省『我が国留学生制度の概要』各年
各年 5 月 1 日現在 単位：人

成績順に受験生の合否を決定するというのが、その後のプロセスである。こうした中国の選抜過程を、私たちは今少し理解して、優秀な中国の学生を確保する上でそこで生み出される情報（高考でどのような成績を修めたか、どのような大学に進学したか、その大学でどのような成績評価を得たかなど）を生

かすべきではないかと私は感じている。

この点で注目してよいのは、大学院での受け入れについて、中国からの大学院進学者を日本の大学院の側から積極的に開拓する動きが始まっていることである。中国の大学は1683カ所の大学から、99カ所の重点大学が選ばれ、さらにその中から34カ所の研究型大学が選ばれ、その頂点に2カ所の世界一流大学が位置するというピラミッド型の構造になっている(紺野(2006)119)。したがってそのトップの清華や北京などには、極めて優秀な青年が集まっている。この選抜システムを積極的に利用して、清華大学などの優秀な学生に限定して招請し、大学の研究力を高めるため彼らの頭脳の力を借りようとする動きがすでに日米のトップ大学の間で進んでいる。日本でよく名前が挙がるのは東工大、東大、東北大など工学系大学院で、これについてはたとえば以下のような報道がある。

「東工大 中国の清華大と大学院教育提携」日経産業 04/03/9, p. 9.

「東大工学系研究科 産学連携拠点設置へ」日経産業 04/06/30, p. 10.

「工学系大学院 中韓2大学と提携 東大受け入れ枠設定」日経 04/09/18 夕刊, p. 1.

「東北大 中国人留学生の獲得強化」日経産業 04/11/11, p. 17.

このような工学系の動きがあるなか、文系の大学院はなお動きが鈍い。では文系の大学院での中国人学生受け入れについてなお慎重な意見があるとするれば、その理由はどういう点にあるのだろうか。文系の場合、中国の大学で学んでいる内容についての教員の間に漠然とした不安が残っていることがネックの一つになっていると私は考えている。そもそも中国の大学カリキュラムはたとえば清華大学や復旦大学のように海外からネットでアクセスできるものもある。また幾つかの学問分野については調査報告も出ている(黄2002, 茂住2003, 金2005, 朱2006, チェン2006など)。しかしなお人的交流の不足から、日本に入る情報が限られていることが、こうした漠然とした不安が残る理由だと考えられる。

私はこうした不安の一部は中国の大学で使用されているテキストの内容が知られていない点にあると考え、今回、私の専門である『証券市場論』に関して、北京と上海などで近年出版されたテキストの内容分析を試みた。

分析に用いたテキストは現地で入手した以下の4冊である（なお中国の書籍は、たとえば東方書店のサイトでネットをつかい日本で検索してインターネットで取り寄せることは可能だが、船便を利用するため注文から到着まで現在は2ヶ月程度かかっている）。これらは書誌分類に高等学校 gaodengxuexiao（あるいは高校 gaoxiao：これは日本で言えば高等学校卒業後の教育を広く指している。なお日本の高校は中国では高級中学 gaojizhongxue あるいは高中 gaozhong という）一教材とあるので大学学部の教材である。

①章融主編『面向21世紀普通本科經濟管理系列企劃教材 証券投資学』科学出版社，北京2004。（証券投資－高等学校－教材） p. 204 A4 変型

②胡榮振主編『高等院校企劃教材 証券投資学』上海財經大學出版社，上海2005。（証券投資－繼續教育：高等教育－教材） p. 354 B5 変型

③貝政新主編『運用財經類系列 証券投資学』復旦大學出版社，上海2005。（証券投資） p. 506 B5 変型

④李多全主編『高職高專國際商務系列教材 証券投資實務』北京大學出版社，北京2005。（証券投資－高等学校：技術学校－教材） p. 283 A4 変型

この4冊の理論的な水準をみるために、記述項目の有無を検討するという方法をとった（表1-10）。表1-10によると④を除くとどのテキストも、現代の投資理論を概ねカバーしている。④は記述事項の説明も簡略だがこれは、表題を『証券投資實務』として實務をうたっていることからすると、もともと實務書に近い性格の教科書と考えられる。

表1-10から伺えるように、教授される理論というレベルでは中日の大学教育における違いは、大きいものではない。違いがどこにあるかといえ、この表以外の部分ではないか。つまり日本ではすでに生じた変化でし、かし中国でこれから生じる制度的側面については、中国のテキストは触れ

表1-10 中国の証券投資学教材の記載事項 記載があるものには○

記載項目	①章	②胡	③貝	④李
テクニカル分析	○	○	○	○
株価指数		○	○	○
DDM CGM	○	○	○	○
ポートフォリオ理論	○	○	○	
CAPM		○	○	
APT (裁定価格理論)		○	○	
リスク管理分析		○	○	
オプション価値	○	○	○	
行動ファイナンス			○	

ていない。例示すればそれは、証券市場の自由化、市場間の競争、金融の証券化、M&A、コーポレート・ガバナンスなどの諸問題である。

もちろん今回の分析作業はたまたま入手したテキストを用いた部分的なものに過ぎない。断定的に言うには、さらに多くの主要大学テキストを収集して分析対象を拡大するとともに、講義の実態も調査する必要がある。とはいえ現在のところ私は、以上のテキストの比較から中国の学生が現地の学部専門教育で「証券投資学」という科目で学習する内容は、日本の大学学部における「証券市場論」あるいは「証券経済論」という講義課目と学習内容に大きな差はなさそうだと判断している。

2. 両国の言葉の違いを整理する

以下の最後の部分では、授業で実際に使う用語集を提案する。この用語集に採録した用語は小稿末尾の文献などから取捨したものである。この用語集を編集する中で、私は日本語と中国語の言葉の違いはそもそもなぜ生じているのかを整理するの必要を感じた。

最初に述べてよいことは相当数の日中同一表現があることである。同じ

漢字を使って同じ意味を表わしている事例を思いつくままあげてみる（表 2-1）。この表から分かるように日中で同一の表現は少なくない。

つぎに全く異なる表現の事例をケース分けしてみた（表 2-2 から表 2-5）。一つは使用する漢字が異なるケース。身の周りの基本動作に関する漢字の多くが日中で異なっている。それから普通名詞で日本ではカタカナ表記のケース。つぎに日本ではアルファベット表記のケース。そして最後に固有名詞でカタカナ表記となるケースである。

日中の表現がまったく違うという以上のケースに比べて、初学者が混乱しやすいのは、日中で使用する漢字が微妙に異なるなど言葉の違いが曖昧なケースである（表 2-6 から表 2-10）。

おそらくそのなかで量的に最大の部分は簡体字表現である。面倒なことに中国で日本では消え去った旧字体が残っているケースや、日本語読みにしたときの音は同じだが日本とは違う漢字をあてはめて熟語を作っているケースがある。とくに旧字体が簡体字になっていると、私たち日本人にはもとの漢字がわからないので混乱しやすい。

やっかいなのは、日本でも使用する漢字での表現なのに、中国では独特のニュアンスが加わり全く異なる意味で使われるケースである（表 2-11）。はっきり違うのは組織の名称だ。たとえば中国で公安局 *gonganju* といえば日本の警察。しかし公安という言葉のニュアンスは日本では警察とは微妙に異なる。

教育分野でこのような言葉の違いをみると、中国では、「高等学校 *gaodengxuexiao*」は大学をはじめ高校卒業後の教育機関を現わし、大学院のことは「研究生院 *yanjiushengyuan*」という。また中国では課目を「課程 *kechang*」ということがある。教育に関する言葉の違いは私たち大学の教員には興味深いので、このほかの気になる教育用語を表 2-12 にまとめておいた。

日本では使われない漢字も日本人を混乱させる。日本語でいう中国の民

弁大学の弁。この元の表現は、民办大学。これは中国の私立大学のことである。办に弁をあてはめたのは実は無理がある。そもそも弁という字は中国で使われておらず、日本では办を使わない。办は「する」「行う」という意味の辦 ban を簡体字にしたもの。これは花卉の弁 (瓣 ban) とは別の漢字であり、弁護、中国語の辩护 bianhu の辯 bian とも別の漢字である。おそらく ban の音に弁をあてたのだが、弁をいう字をいくら眺めても意味はわからない。しかし办が元の字だとわかれば、办法 banfa が解決方法という意味になり、办公室 bangongshi がオフィスの意味となることは理解できる。

日本で使わない漢字が中国で現役という例は意外に沢山ある。たとえば売却という意味の中国語は销售 (銷售 xiaoshou)。銷は売り切るという意味、售の意味も売るという意味である。この二つの漢字「銷」と「售」は日本では使わないが中国ではよく使う。そして売という字は逆に中国では使われず、中国では代わりに賣 mai の簡体字である卖を使う。日本語の販売と同じ販賣 (販賣 fanmai) という表現もあるが、销售が頻出表現。なお購買という意味には、日本語と同様に販賣 (購買 goumai) が使われている。

中国で使って日本で使わない漢字はほかにも沢山あり私たちが悩ませる。たとえば汇票 (匯票 huipiao) は為替手形のことだが、やはり日本ではこの匯 (匯) は使わない。この匯の意味は語彙の彙と同じで、一か所にもものを集めることである。

以下の専門用語集では、私たちから見て同一表現といえるものと異なる表現に見えるものとに粗分けした。簡体字のほとんどは同一表現に分類した。異なる表現としたものには、すでに紹介したさまざまなケースが混在している。また言葉の新旧の問題、地域による表現の違い、日本から入った表現の問題、などの様々な論点について今回は触れていない。

表 2-1 日中同一表現の例

比较(比較 bijiao)	珈琲 kafei	委员(委員 weiyuan)
不受理 bushouli	可變的 kebiande	一般 yiban
长期(長期 changqi)	减少(減少 jianshao)	引用 yinyong
垂直(垂直 chuizhi)	普通 pudong	义务(義務 yiwu)
短期 duanqi	世界 shijie	增加 zengjia
反对(反对 fangdui)	水平 shuiping	责任(責任 zeren)
固定 guding	同意 tongyi	政府 zhengfu
合理的 helide	外部 waibu	自然 ziran
紅茶 hongcha	完成 wanchen	

注：小稿のアルファベット表記は四声表示のない発音表記であり，通常のキーボードを使って簡体字に変換する読者を想定している。

表 2-2 日中で使用漢字が異なる身の回り表現例

跑 bao	走る	喝 he	飲む	脸 lian	顔
脖子 bozi	首	见面 jianmen	会う	慢 man	遅い
吃 chi	食べる	看 kan	見る	便宜 pianyi	安い
肚子 duzi	お腹	快 kuai	早い	热(熱 re)	暑い
贵(貴 gui)	高い	冷 leng	寒い	走 zou	歩く

表 2-3 日本ではカタカナ表記となる例

黄牌 huangpai	イエローカード cf.レッドカード → 紅牌 hongpai
艾滋病 aizibing	エイズ cf.鳥インフルエンザ → 禽流感 qinliugan
能量 nengliang	エネルギー cf.エネルギー資源 → 能源 nengyuan
电脑 diannaο	コンピューター cf.ネットワーク → 网络(網路 wangluo)
系统(系統 xitong)	システム cf.シリーズ → 系列 xilie
软件(軟件 ruanjian)	ソフトウェア cf.ハードウェア → 硬件 yingjian
纳米技术 namijishu	ナノテク cf.ハイテク → 先进技术 xianjinjishu 高技术
网民(網民 wangmin)	ネットワークシチズン cf.Eメール → 电子邮件 dianziyoujian
黄油 huangyou	バター cf.チーズ → 干酪 ganlao
传真(傳真 chuanzhen)	ファクシミリ cf.コピー → 复印(複印 fuyin) 拷貝 kaobei
蓝领(藍領 langling)	ブルーカラー cf.ホワイトカラー → 白领(白領 bailing)
软盘 ruanpan	フロッピー cf.USBメモリー → USB存储器 cunchuqi
主页(主頁 zhuye)	ホームページ cf.インターネット → 互联网(互聯網 hulianwan)

表2-4 日本語ではアルファベットになる例

激光唱片 jiquangchangpian	CD
数字视频光盘 (数字视频光盘 shuzishipingguangpan)	DVD
集成电路(集成电路 jichengdianlu)	IC 集積回路
信息技术 xinxiijishu	IT 情報技術
大规模集成电路 (大规模集成电路 daguimojichengdianlu)	LSI 大規模集積回路

表2-5 日本語ではカタカナ表記となる固有名詞の例

白宫 baikong	ホワイトハウス	奥林匹克 aolinpike	オリンピック
圣诞节 shengdanjie	クリスマス	圣诞老人 laoren	サンタクロース
纽约(紐約 niuyue)	ニューヨーク	新加坡 xinjiabo	シンガポール
加拿大 jianada	カナダ	端去 duanqu	スイス
德国 deguo	ドイツ	法国 faguo	フランス
馬克 make	マルク	法郎 falang	フラン
索尼 suoni	ソニー	微软 huiruan	マイクロソフト
麦当劳 (麦当劳 maidanlao)	マクドナルド	可口可乐(可口可樂 kekoukele)	コココーラ
星巴克 xingbake	スターバックス	肯德基 beideji	ケンタッキーフライ ドチキン
佳能 jianeng	キヤノン	戴尔 daier	デル
丰田 fengtian 汽车	トヨタ自動車	(沃爾瑪 woerma)	ウォルマート
普利司通 pulisitong	ブリヂストン	夏普 xiapu	シャープ

表2-6 簡体字化により日本人には普段使う漢字と異なって見える例

半导体(半導体 bandaoti)	国际(國際 guoji)	曲线(曲線 quxian)
报告(報告 baogao)	环境(環境 huanjing)	实务(実務 shiwu)
动议(動議 dongyi)	缓冲(緩衝 huanchong)	特征(特徵 tezheng)
分类(分類 fenlei)	货币(貨幣 huobi)	完肤(完膚 wanfu)
复习(復習 fuxi)	基础(基礎 jichu)	危机(危機 weiji)
复杂(複雜 fuza)	竞争(競爭 jingzheng)	选拔(選拔 xuanba)
干部(幹部 ganbu)	开发(開發 kaifa)	指标(指標 zhibiao)
高层(高層 gaoceng)	练习(練習 lianxi)	职业(職業 zhiye)
工艺(工藝 gongyi)	秘书(秘書 mishu)	制造(製造 zhizao)
关系(關係 guanxi)	农村(農村 nongcun)	种类(種類 zhonglei)
过度(過度 guodu)	亲笔(親筆 qinbi)	专门(專門 zhuanmen)

表 2-7 中国語の方が繁体字である例

預算(預算 yusuan)	予算	辣 la	辛い
預定(預定 yuding)	予定 予約	甜 tian	甘い
假設 jiashe	仮説	郑重 zhengzhong	丁重

表 2-8 日本語にした音は同じなのに使う漢字は異なっている例

授予 shouyu	授与	关联(関聯 guanlian)	関連
营养(營養 yingyang)	栄養	标准 biaozhun	標準

表 2-9-1 類似しているが表現に違いがある例

书(書 shu)	本 図書 書物	眼睛 yanjing	目
假花 jiahua	造花	联系(聯系 lianxi)	連絡
医生 yisheng	医者	药店(藥店 yaodian)	薬局
最佳 zuijia	最適	信箱 xinxiang	私書箱 ポスト
完美 wanmei	完璧	概率 gailu	確率
約 yue 承諾 chengnuo	約束	信誉 xinyu 声誉 shengyu	評判

表 2-9-2 中国独自の表現の例

比赛(比賽 bisai)	競技	彩票 caipiao	宝くじ券	城市 chengshi	都市
--------------	----	------------	------	-------------	----

表 2-10 語順が転倒している例

和平 heping	⇔平和	介绍 jieshao	⇔紹介	买卖 maimai	⇔売買
-----------	-----	------------	-----	-----------	-----

表 2-11 日本でも使う漢字を用いた中国独自の意味の例

单位 danwei	職場	合计 heji	思案 検討	权益 quanyi	権利
东西 donxi	もの あいつ	合同 hetong	契約をする	生意 shengyi	商売 営業
公布 gonbu	公開する	合作 hezuo	協力する	同事 tongshi	同僚
公道 gondao	正しい道理	检讨 jiantao	反省する	阳光(陽光 yangguang)	公開 透明
工具 gongju	方法 手段	老板 laoban	ボス 店主	隐性(隱性 yinxing)	非公開
工作 gongzuo	仕事をする	培养 peiyang	人の養成	指标 zhibiao	ノルマ

表2-12 中国の教育用語の例

学分 xuefen	【履修】単位	本科 benke 大本 daben	4年生大学
学院 xueyuan	① 単科大学 ② 総合大学の学部	研究生 yanjiusheng	大学院生
招生 zhaosheng	学生募集	特招生 tezhaosheng	特待生
专业(専業 zhuanye)	専攻	招聘会 zhaopin hui	大卒者企業説明会
文件 wenjian	文献 文書 書類	暑期学校 shuqixuexiao	サマースクール
导师(導師 daoshi)	指導教授	作弊 zuobi	カンニングする
硕导 shuodao	修士指導教授	考试(考試 kaoshi)	試験
博导 bodao	博士指導教授	选题(選題 xuanti)	選択問題 選択課題
校办企业(校辦企業 xiaobanqiye) 校企	校営企業 大学付属企業	实习 (實習 shixi)	仕事をして学ぶ 校内の実習と校外 の実習とがある
半工半读(半読) bankongbandu	働きながら学ぶ	业余教育 (業余教育) yeyujiaoyu	勤務時間外の教育
函授学院 hanshouxueyuan	通信教育大学	广播电视大学 (廣播電視大學 guangbodianshidaxue)	放送大学
后勤(後勤 houqin)	後方勤務 大学の 場合は教職員や学 生への食住サービ スなど	素质教育 (素質教育 suzhijiaoyu) →应试教育(應試教育 yingshijiaoyu)	素養や資質を高め るための教育 文 系で理数教育をす るなど

中国語専門用語集

I 経済経営用語

表 I-1 経済経営用語 (日中同一表現事例)

财务(財務 caiwu)	经营(經營 jingying)	市场价格 shichangjiage
产出(産出 chanchu)	金融 jinrong	失业(失業 shiye)
非营利组织 feiyinglizuzhi	贸易(貿易 maoyi)	收缩(収縮 shousuo)
分配 fenpei	破产(破産 pochān)	所得税 suodeshui
管理 guanli	契约(契約 qiye)	停滞 tingzhi
交易 jiaoyi	商业(商業 shangye)	消费者(消費者 xiaofeizhe)
解雇(解雇 jiegu)	生产(生産 shengchan)	资源(資源 ziyuan)

經濟・經營教育と中国語

表 I-2 經濟經營用語 (異なる表現)

中国語(繁体字)	日本語
对外委托 duiwaiweituo 外包(外包 waibao)	アウトソース 外注
毛利 maoli	粗利
創新 chuangxin 革新 gexin	イノベーション 新機軸
通货膨胀(通貨膨脹 tonghuopengzhang) 通胀 tongzhang	インフレーション
批发(批發 pifa) ⇔ 零售 lingshou	卸売 ⇔ 小売
公司 gongsi	会社 法人
董事长(董事長 dongshichang)	会長 理事長
加权平均(加權平均 jiaquanpingjun)	加重平均
价值链(價值鏈 jiazhilian)	価値連鎖
股份公司 gufengongsi	株式会社
股民 gumin 股东(股東 gudong)	株主
股东大会(股東大会 gudongdahui)	株主総会
旗舰店 qiquandian	旗艦店 フラッグシップストア
表决权(表決権 biaojuquan)	議決権
经理(經理 jingli)	経営者 管理者
公司统治 gongsitongzhi 公司治理 gongsizhili	コーポレート・ガバナンス
子公司 zikongsi ⇔ 总公司(總公司 zonggongsi)	子会社 ⇔ 親会社
客戶 kehu	顧客
收支平衡表 shouzhipinghengbiao	国際収支表
国内生产总值(国内生産総値 guoneishengchanzongzhi)	国内生産価値 GDP
独资企业(獨資企業 duziquye) 个人企业 gerenqiye	個人企業
雇主 guzhu	雇用者
便利店 bianlidian	コンビニ
财务主任 caiwuzhuren 首席财务官 shouxicaiwuguan	財務担当取締役 CFO
供应链管理 gongyinglianguanli	サプライチェーンマネジメント
准时(准時 zhunshi)	ジャストインタイム
独立董事 dulidongshi	社外取締役
总经理 zongjingli 首席执行官 shouxizhixinguan	社長 CEO
盈余 yingyu 順差 shuncha	出超 余剰 黒字
需求 xuqiu ⇔ 供应(供應 gongying)	需要 ⇔ 供給
壁垒(壁壘 bilei) 障碍 zhangai	障壁
晋升 jinsheng 升为 shengwei	昇進
殖民主义 zhiminzhuyi	植民地主義

超市 chaoshi	スーパー
库存(庫存 kucun) 存货 cunhuo ⇔ 流量 liuliang	ストック ⇔ フロー
增长(増長 zengzhang)	成長
海关(海關 haiguan)	税関
避税港 bishuigang	タックスヘイブン
倾销(傾銷 qingxiao)	ダンピング
知识产权(知識産権 zhishichanquan)	知財権
工资(工資 gongzi)	賃金
章程 zhangcheng	定款
通货紧缩(通貨緊縮 tonghuajinsuo) 通缩 tongsuo	デフレーション
炒 chao	投機を行う
倒闭(倒閉 daobi)	倒産
董事会 dongshihui	取締役会 役員会
拍卖(拍賣 paimai) 招标(招標 zhaobiao)	入札 オークション
逆差 nicha	入超 不足
排污权(排污権 paiwuquan)	排出権
股利 guli 股息 guxi 红利 hongli	配当
雇员(雇員 guyuan)	被雇用者
虚拟经济(虛擬經濟 xunijingji)	バーチャル経済
合伙企业(合伙企業 hehuoqiye)	パートナーシップ
泡沫经济(泡沫經濟 paomojingji)	バブル経済
电子售点(電子售点 dianzishoudian)	販売時点情報管理 POS
质量管理(質量管理 zhiliangguanli)	品質管理 QC
增值税(増値税 zengzhishui)	付加価値税
专卖店(專賣店 zhuanmaidian)	フランチャイズドショップ
品牌 pinpai	ブランド
计划(計劃 jihua)	プロジェクト
公司税 gongsishui	法人税
总公司(總公司 zonggongsi) 总部 zongbu	本社 親会社 本部
造市 zaoshi 营销 yingxiao	マーケティング
控股公司 konggugongsi	持ち株会社
出口 chukou ⇔ 进口(進口 jinkou)	輸出 ⇔ 輸入
改组 gaizu 调整 tiaozheng 企业重组 qiyezhongzu	リストラ
工会 gonghui	労働組合

II 金融証券用語

表Ⅱ-1 金融証券用語（日中同一表現事例）

保険(保險 bǎoxiǎn)	投資銀行(投資銀行 tóuzīyínháng)
償還(償還 chánghuán)	現金(現金 xiànjīn)
単利(単利 dānlì)	信用 xìnyòng
店头市场(店頭市場 diàntóushìchǎng)	銀行(銀行 yínháng)
复利(複利 fùlì)	銀行家(銀行家 yínhángjiā)
高利贷(高利貸 gāolìdài)	銀行業(銀行業 yínhángyè)
合并(合併 hébìng)	債券(債券 zhàiquǎn)
商业银行(商業銀行 shāngyèyínháng)	中央銀行 zhōngyāngyínháng

表Ⅱ-2 金融証券用語（異なる表現）

中国語(繁体字)	日本語
一级市场(yījīshìchǎng)	一次市場
内幕取引 neimùquyǐn 内部取引 neibùquyǐn	インサイダー取引
自动柜员机 zìdòngguìyuánjī 自动取款机 zìdòngqǔkuǎnjī	ATM
标准普尔 biāozhǔnpǔ'ěr	S&P
购买合并 gòumǎihébing	M&A
管理层收购(管理層收購 guǎnlǐcéngshòugòu)	MBO
杠杆收购(槓杆收購 gǎnggǎnshòugòu)	LBO
借给 (借給 jiègěi) 贷款 (貸款 dàikuǎn)	お金を貸す 貸付
借 jiè 借钱(借錢 jièqián) 借款 jièkuǎn	お金を借りる 借入
期权(期權 qīquán)	オプション
经营租赁 jīngyíngzūlìn	オペレーティングリース
外汇(外匯 wàihuì)	外国為替
股价指数 (股價指數 gǔjiàzhǐshù)	株価指数
兼并出价(兼并出價 jiānbìngchūjià)	株式公開買付 TOB
股票交易所 gǔpiàojiāoyìsuǒ 证券交易所 zhèngquǎnjiāoyìsuǒ	株式取引所 証券取引所
透支 tōuzhī	過振り(当座貸越し)
汇率(匯率 huìshuǎi)	為替相場
汇票(匯票 huìpiào)	為替手形
卖空(賣空 mǎikōng)	空売り
机构投资者(機構投資者 jīgòutóuzīzhě)	機関投資家

金融衍生商品 jinrongyanshengshangpin 衍生金融工具 gongju	金融デリバティブ
账户(賬戶 zhanghu)	口座 勘定
行为金融学(行為金融学 xinweijinrongxue)	行動ファイナンス
看涨期权(看漲期權 kanzhangqiquan)	コールオプション
支票 zhipiao	小切手
承付担保书(承付担保書 chengfudanbaoshu)	コミライン(融資枠契約)
套利 taoli	裁定
期货(期貨 qihuo)	先物
期市(期市 qishi)	先渡し
垃圾债券(垃圾債券 lajizhaiquan)	ジャンク債
商业票据(商業票據 shangyepiaoju)	商業手形
上市公司 shangshigongsi	上場会社
首次公开发行(首次公開發行 shoucigongkaifaxing)	新規株式公開 IPO
创业板市场 chuanyeban 二板市场 erbanshichang	新興株市場
承销团(承銷團 chengxiaotuan)	シンジケート
银团贷款 yintuandaikuan 联合贷款 lianhedaikuan	シンジケートローン
信任 xinren 信托 xintuo	信託
透支额 touzhi	(カードなど)信用限度額
信用证(信用証 xinyongzheng)	信用状
信用风险(信用風險 xinyongfexian)	信用リスク
互换(互換 huhuan)	スワップ
售后租回 shouhouzuhui	セールス・リターン・リースバック
零息债券(零息債券 lingxizhaiquan)	ゼロクーポン債
前市 qianshi ⇔ 后市 houshi	前場 ⇔ 後場
道琼斯 daoqiongzi	ダウ・ジョーンズ
央行 yanghang	中央銀行
储蓄(儲蓄 chuxu)	貯蓄
租 zu	賃借りする
票据交换所 piaojujiaohuansuo	手形交換所
技术性分析(技術性分析 jishuxingfenxi)	テクニカル分析
债转股(債轉股 zaizhuangu)	デットエクイティスワップ
可转换债券 kezhuanhuanzhaiquan 可转换公司债券	転換社債
投资基金 touzijijin 开放式 kaifangshi 闭锁式 bisuoshi	投資ファンド 投資信託
纳斯达克 nasidake	NASDAQ
收购(收購 shougou) 购并(購併 goubing) 兼并(兼併 jianbing)	買収

經濟・經營教育と中国語

融资租赁 rongzizulin	ファイナンスリース
专用交易系统 zhuangyongjiaoyixitong	PTS
普通股 pudonggu	普通株
纯粹债券 chuncuizhaiquan	普通社債 普通債
看跌期权(看跌期權 kantieqiquan)	プットオプション
溢价 yijia	プレミアム
海运提单(海運提單 haiyuntidan)	船荷証券
对冲基金(対衝基金 duichongjijin)	ヘッジファンド
出租 chuzu 出借 chujie	部屋を貸す 物を貸す
风险资本(風險資本 fenxianziben)	ベンチャーキャピタル
投资组合 touzizuhe 资产组合 zichanzuhe	ポートフォリオ
商人银行(商人銀行 shangrenyinhan)	マーチャントバンク
洗钱(洗錢 xiqian)	マネーロンダリング
本票 benpiao 期票 qipiao	約束手形
优先股(優先股 youxiangu) ⇔ 递延股 diyangu	優先株 ⇔ 劣後株
存款 cunkuan	預金 貯蓄
存款戶 cunkuanhu 存戶	預金者
存款保險(存款保險 baoxian)	預金保険
租赁(租賃 zulin)	リース レンタル
追索权(追索權 zhuisuoquan)	リコース(遡及權)
付息债券 fuxizhaiquan	利付債
息票 xipiao	利札 クーポン
回购(回購 huigou)	レポ取引 買い戻し

Ⅲ 財務会計用語

表Ⅲ-1 財務会計用語 (日中同一表現)

贷方(貸方 daifang)	流动比率(流動比率 liudongbishuai)
贷借对照表 daijieduizhaobiao	流动资产(流動資産 liudongzichan)
负债(負債 fuzhai)	损益表(損益表 sunyibiao)
负债比率(負債比率 fuzhaibishuai)	现金比率(現金比率 xianjinbishuai)
固定资产(固定資産 gudingzichan)	有形资产(有形資産 youxingzichan)
价值(價值 jiazhi)	资本(資本 ziben)
借方 jiefang	资产(資産 zichan)
科目 kamu	总资产(總資産 zongzichan)

表Ⅲ-2 財務会計用語 (異なる表現)

中国語(繁体字)	日本語
摊钞(攤銷 tanchao) 分期偿还(分期償還 fenqichanghuan)	アモチゼーション
应收票据(應收票據 yingshoupiaoju)	受取手形
营运(營運 yingyun)	營業 運轉
应付账款(應付賬款 yingfuzhangkuan)	買掛債権
回收期法 huishouqifa	回収期間法
周转率(周轉率 zhouzhuanshuai)	回転率
评等(評等 pingdeng) 评级(評級 pingji)	格付
面值(面值 mianzhi)	額面価値
市盈率 shiyingshuai 价益(價益 jiayi)比率 bishuai	株価収益率 PER
权益报酬率(權益報酬率 quanyibaochoushuai)	株主[自己]資本利益率 ROE
审计(審計 shenji)	監査
现金流量管理(現金流量管理 xianjinliuliangguanli)	キャッシュフローマネジメント
速动比率(速動比率 sudongbishuai)	クイックレシオ
递延资产(遞延資產 diyanzichan)	繰延資産
折旧 zhejiu	減価償却
现金收付制(現金收付制 xianjinshoufuzhi)	現金主義
现值(現值 xianzhi)	現在価値
或有负债(或有負債 huoyoufuzhai)	偶発債務
存货(存貨 cunhuo)	在庫
重置正本 chongzhichengben	再調達費用
偿债能力(償債能力 changzhainengli)	債務返済可能 solvency
无偿债能力 wuchangzainengli 无力偿付 wulichangfu	債務返済不能 insolvency
财务报表 caiwububiao 会计谱表 huijipubiao	財務諸表
残留的价值 canliudejiazhi 残值 canzhi	残存価値
现行成本 xianxingchengben	時価
资产报酬率(資産報酬率 zichanbaochoushuai)	資産利益率[収益率] ROA
应付票据(應付票據 yingfupiaoju)	支払手形
资本结构(資本結構 zibenjiegou)	資本構成
盈利能力 yinglinengli	収益性
历史成本(歷史成本 lishichengben)	取得原価
净资产(淨資產 jingzhichan)	純資産
撤消 chexiao	消却
现净值(現淨值 xianjingzhi)	正味現在価値

終値 zhongzhi 将来値 lianglaizhi	将来価値
盈亏平衡(盈虧平衡 yingkuipingheng)	損益分岐
年折旧(年折旧 nianzhejiu) 真线法(真綫法 zhenxianfa)	(減価償却) 定額法
加速折旧(加速折旧 jiasuzhejiu) 定率法 dingshuaifa	(減価償却) 定率法
内部報酬率(内部報酬率 neibubaochoushuai)	内部收益率 IRR
留在收益 liuzaishouyi	内部留保 留保利益
商誉 shangyu	暖簾(のれん)
权责发生制(權責髮生制 quanzenfashengzhi)	發生主義
平衡计分(平衡記分 pinghengjifen)	バランススコア
成本 chengben	費用
账面价值(賬面價值 zhangmianjiazhi)	簿価
裝飾 zhuangshi	粉飾 粉飾決算
无形资产(無形資産 wuxingzichan)	無形資産
变现力 bianxianli 清偿能力 qingchangnengli	流動性

使用資料 (selected material in historical order)

日本語資料

- 遠藤誉 (2000) 『中国教育革命が描く世界戦略』 厚有出版, 2000.
- 対外経済貿易大学・商務印書館・小学館共同編集 (2002) 『日中辞典 中日辞典 第二版』 小学館, 2002.
- 苑復傑 (2002) 「改革開放政策と高等教育政策」 『IDE』 Aug. 2002, 11-17.
- 王善邁ほか (2002) 「高等教育改革の発展の現状および問題」 『IDE』 Aug. 2002, 17-22.
- 黄福寿 (2002) 「大学カリキュラムの日中比較」 『IDE』 Aug. 2002, 55-56.
- 遠藤誉 (2002) 「中国の大学改革の現状—“知識経済”の駆動力になっている校弁企業—」 『IDE』 Aug. 2002, 56-60.
- 王東明 (2002) 「中国の株式所有構造とコーポレート・ガバナンス」 井村進哉・福光寛・王東明編著『コーポレート・ガバナンスの社会的視座』 日本経済評論社, 2002, 71-133 所収.
- 徐燁聡 (2003) 『入門 中国の証券市場』 東洋経済新報社, 2003.
- 茂住和世 (2003) 「中国上海復旦大学日語日文科における日本語教育」 『東京情報 大学研究論集』 6-2, Feb. 2003, 171-181.
- 林鐘玉・張韓模 「韓国と中国の会計制度と会計教育に関する比較研究」 『佐賀大学文化教育学部研究論文集』 9-1, Sept. 2004, 77-84.

- 監査法人トーマツ編 (2005) 『中日・日中・会計税務投資用語辞典』中央経済社, 2005.
- 付奎香 (2005) 「中国における高等教育改革の現状と今後の課題」『桜美林大学産研通信』62, Mar. 2005, 9-13.
- 無署名 (2005) 「恐るべし“清華大学”」『選択』Oct. 2005, 110-113.
- 金璐 (2005) 「中国の高等教育レベルにおける保険・リスクマネジメント教育の動向」『生命保険論集』153, Dec. 2005, 157-170.
- 築瀬正人・斎藤公彦 (2006) 『中国税務・会計ハンドブック』東洋経済新報社, 2006. (税務会計用語日中英対照表付き)
- 射手矢好雄・布井千博・周劍龍 (2006) 『改正中国会社法・証券法』商事法務, 2006.
- 紺野大介 (2006) 『中国の頭脳 清華大学と北京大学』朝日新聞社, 2006.
- 王春山 (2006) 「中国会計教育の現状と将来」『JICPA ジャーナル』606, Jan. 2006, 91-93.
- 王麗燕 (2006) 「1990年代以降の中国における大学入学者選抜制度の改革と課題」『中国四国教育学会 教育学研究ジャーナル』2, Mar. 2006, 51-59.
- 周劍龍 (2006) 「中国証券法の大改正」『ビジネス法務』6-3, Mar. 2006, 77-84.
- ジョン・チェンほか (2006) 「中国のBスクール事情 普及する“ケースメソッド”」『Diamond Harvard Business Review』May 2006, 132-145.
- 水野一郎 (2006) 「現代中国会計制度の発展と特質」『会計』69 (6), June 2006, 821-832.
- 野下保利・徐曉斌 (2006) 「中国株式市場と“国有株流通問題”」『証券経済学会年報』41, July 2006, 100-104.
- 小原篤次 (2006) 「中国の債券市場の現状と課題」『証券経済学会年報』41, July 2006, 105-109.
- 王東明 (2006) 「中国の証券市場改革の現状と課題」『証券経済学会年報』41, July 2006, 122-125.
- 朱磊 (2006) 「中国における大学広告教育の現状と課題」『日経広告研究所』228, Aug. 9, 2006, 25-31.
- 遠藤誉 (2006) 「中国の成長に水を差す大学生の就職難」『中央公論』Sept. 2006, 190-197.
- 菅原大介 (2006) 「大学生の就職難と中国版ニートの出現」『クレア海外通信』Nov. 2006 (<http://www.clair.or.jp> より)
- 楊雲 (2006) 「中国高等教育の量的拡大と民営大学の発展」『新潟大学現代社会文化研究』37, Dec. 2006, 175-192.

- 無署名 (2007) 「大卒 特別にあらず 中国 北京 仕事」(Feb. 27, 2007) (<http://www.asahi.com> より)
- 田中信彦 (2007) 「急募！ 中国人幹部候補生 日本の企業・大学が育成に本腰」
『週刊東洋経済』 Mar. 17, 2007, 114-115.
- 遠藤誉 (2007①) 「中国高等教育の現状と課題」『東亜』 479, May 2007, 10-18.
- 遠藤誉 (2007②) 「中国人留学生の現状から見えるもの」『東亜』 479, May 2007, 20-27.

中国語資料（繁体字表記） 本文に掲げたものを除く

- 『精選日漢漢日詞典（新版）』商務印書館，北京 2000.
- 『英漢双解財会詞典』外語教学与研究出版社，北京 2002.
- 『新華新詞語詞典』商務印書館，北京 2003.
- 『銀行詞典』天津大学出版社，天津 2004.
- 『英漢漢英銀行外匯業務詞匯表 修訂本』立信會計出版社，上海 2005.
- 『新編實用英漢國際經貿金融詞典』對外經濟貿易出版社，北京 2006.

Hiroshi Fukumitsu is a professor of financial management at Seijo University, Tokyo. In this brief paper he made a proposal to use Chinese technical terms in lectures on special subjects. The influx of Chinese terms into Japan is unavoidable. He outlined that the upward trend of economic exchanges between Japan and the Chinese area. It has become outweighed the relationship with US. He also anticipated the sharp increase of Chinese postgraduate students in Japan. He thinks that the need for the precise understanding of Chinese technical terms rose than ever.

URL: <http://happytown.orahoo.com/libraries-tokyo> E-mail: fukumitu@seijo.ac.jp

(小稿は平成 19 年度成城大学特別研究助成による研究成果の一部である)